



日本遺産 鯨とともに生きる

～くじらと人の物語～

「2016年、和歌山県の熊野灘沿岸地域の捕鯨文化に関するストーリー「鯨とともに生きる」が日本遺産に認定されました」



日本遺産 鯨とともに生きる

黒潮がおどる熊野灘。

南国の陽光きらめくこの海には、

古くから鯨が姿を見せていた。

人々は巨体を畏れながらも、

やがて立ち向かうようになる。

一方で、彼らは誰よりも鯨を大切にし、

鯨と人の物語が、南の海に紡ぎ出された。

古式捕鯨の見張り台があった、太地町の梶取崎から眺めた熊野灘。写真奥に見える岬は燈明崎



紀伊半島の南東部、黒潮が流れる熊野灘沿岸の人々は、昔から鯨とともに生きてきました。一帯では江戸時代初期に組織的な捕鯨が始まり、地域の一大産業へ発展。大いなる海の恵みは人々の暮らしを支え、一方で人々は鯨に感謝し、巨体を余すところなく活用してきました。

そして、捕鯨は現在も続けられています。地域には鯨と人の長い関わりを示す史跡も残り、鯨にまつわる祭りや伝統芸能、食文化も受け継がれています。

熊野に息づくこうした捕鯨文化のストーリー「鯨とともに生きる」が、2016年4月、文化庁の日本遺産に認定されました。物語の舞台は、和歌山県の新宮市と、太地・那智勝浦・串本の3町。なかでも太地は、鯨の町としてよく知られるところですが、

本州最南端のこのエリアには、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を構成する熊野三山や熊野古道もあります。海の日本遺産」と、山の世界遺産が織り成す魅力たっぷりの熊野へ、鯨と人の物語をたずねてみませんか―



1 捕鯨の様子を勇壮に再現する三輪崎の鯨踊(→P5) 2 那智三峰の一つ、妙法山から望んだ熊野灘 3 豊漁を願う飛鳥神社の例大祭(→P5)。樽みこしを担いだ若者衆は町を練り歩いた後、海へ入り、身を清める 4 那智山青岸渡寺の境内に立つ魚霊供養碑(→P10) 5 潮岬の鯨山見(→P14) 6 梶取崎灯台(→P13)のてっぺんには「風見鯨」が付いている 7 梶取崎園地(→P13)にあるくじら供養碑 8 江戸時代から続く捕鯨の拠点、太地港

Contents

- 日本遺産ストーリーと、祭り・伝統芸能…P4
- 鯨を見る・学ぶ・楽しむ…P6
- 周遊モデルプラン①～海の世界遺産と山の世界遺産…P8
- 周遊モデルプラン②～熊野灘の潮風を感じる町歩き…P12
- 周遊モデルプラン③～本州最南端で絶景ドライブ…P14
- 周遊モデルプラン④～日本遺産・世界遺産&ジオパーク ウォーク…P15
- 熊野のおすすめ宿…P16
- MAP、おみやげ処…P18
- 和歌山アクセスガイド…P19

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。そのストーリーのもととなる有形・無形の文化財を積極的に活用して、地域振興につなげることを目的に、2015年に創設。これまでに「鯨とともに生きる」を含む37件が認定されている(2016年11月末日現在)。



表紙写真

- 上段『座頭鯨網掛之図』 太地町立くじらの博物館蔵
古い絵巻を昭和40年代に模写したもの。燈明崎前の漁場で、潮を吹くザトウクジラに網を掛ける様子が描かれている
- 下段『紀州太地浦 鯨大漁之図』 太地町立くじらの博物館蔵
文久元年(1861年)作の絵巻。写真は捕鯨舟やさまざまな漁具を製作している場面。絵巻は長さ約13mあり、ほかに11種類の鯨の図、漁の様子などが描かれている。

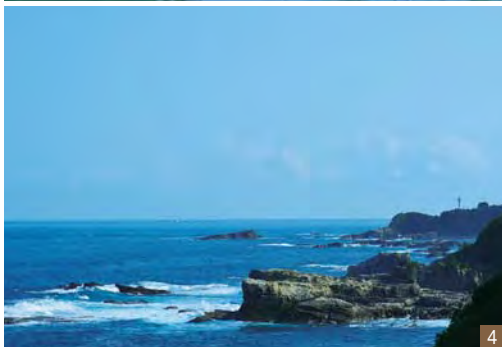
日本遺産 鯨とともに生きる

日本遺産「鯨とともに生きる」は、熊野灘の捕鯨文化を伝えるストーリー。地域の有形・無形の文化財（日本遺産の構成文化財）をもとにまとめられた、その物語をひも解いてみよう。

鯨とともに生きる ストーリー



1



1 御舟の渡御は祭りのハイライト。捕鯨で栄えた歴史を今に伝える
2 熊野水軍の拠点のひとつだった九龍島(写真左)・鯛島(同右)(→P8)
3 複雑に入り組んだ海岸に山が迫る太地漁港(写真奥)の周辺
4 燈明崎から見た梶取崎

古式捕鯨の歴史

日本人にとって鯨は古来、海の彼方より富をもたらす神「えびす」だった。人々はときおり浜辺に打ち寄せられる鯨を、ありがたみ糧としたが、暮らしのために、やがて自ら捕獲する道を歩み始めた。

黒潮が流れる熊野灘の沿岸地域でも鯨は古くから姿を見せており、江戸時代に入ると組織的な捕鯨が始まった。創始したのは、太地の郷士・和田忠兵衛頼元と伝わり、今では捕鯨の祖と崇められている。

当初は鯨を銚で突き取るだけだったが、のちに網取り法が開発されると、捕鯨は飛躍的に発展した。船団を組んで鯨を囲み、網を絡めた後、銚を打ち込むのだ。船団といつても、今とは比べ物にならない手漕ぎの小舟。数種類の銚をたくさん打ち込んで、最後は大きな剣でとどめを刺したという。

命の危険を伴うこの漁を担ったのは、古くは源平合戦で勇名を馳せた熊野水軍の末裔たちといわれる。勇敢で団結心が強く、操船技術に秀で、海の知識は豊富。このマ

日本遺産 古式捕鯨高塚連絡所跡

●こしきほげいたかつかれんらくしよあと
山見相互の連絡をするための中継所としての役割を果たした施設跡。
④太地町太地 ⑤バス停高塚からすぐ
[MAP] P18C4



日本遺産 鯨供養碑

●くじらくようひ
古式捕鯨時代に建立された現存する唯一の供養碑。東明寺の境内に立つ。
④太地町太地 ⑤バス停漁協前から徒歩で約4分 [MAP] P18C4



日本遺産 飛鳥神社

●あすかじんじゃ
捕鯨にまつわる伝統行事が受け継がれる。豪華な本殿は太地町文化財。
④太地町太地 ⑤バス停漁協前からすぐ
[MAP] P18C4

捕鯨文化を伝える 日本遺産の祭り と伝統芸能

写真1

開催日 7月第4土・日曜

日本遺産 河内祭の御舟行事

●こうちまつりのみふねぎょうじ

豪華に装飾された御舟が水上を渡御。捕鯨が地域の誇るべき産業だったことを物語る。国重要無形民俗文化財。

【場所】河内島ほか【MAP】P18A2

写真7

開催日 9月中旬

日本遺産 三輪崎の鯨踊

●みわさきのくじらおどり

網を投げて鯨を取り巻く形を表す「殿中踊」と、鉾突きを表現する「綾踊」がある。和歌山県無形民俗文化財。

【場所】三輪崎漁港【MAP】P18B2

写真8

開催日 11月第1日曜

日本遺産 太地のくじら踊

●たいじのくじらおどり

綾棒を鉾に見立てて打ち振る「綾踊り」と、鯨をつかみ取る「魚踊り」がある。和歌山県無形民俗文化財。

【場所】太地漁港【MAP】P18C4

写真9

開催日 1月第2日曜

日本遺産 鹽竈神社のせみ祭り

●しおがまじんじやのせみまつり

的に取り付けた「せみ」(鯨を糞で表したものを)を白装束の子どもが引き抜いて走る。

【場所】鹽竈神社【MAP】P18A2

写真10

開催日 2月14日直前の土曜

日本遺産 浜の宮のお弓祭り

●はまのみやのおゆみまつり

熊野三所大神社の例祭。神事の後、的に取り付けられた「背美」を奪い合う。また的を壊して持ち帰る。

【場所】熊野三所大神社【MAP】P18B1

その他の関連行事……………

開催日 1月13日

飛鳥神社のお弓神事

●あすかじんじやのおゆみしんじ

航海安全や大漁を祈願する神事。セミクジラを模した木製の縁起物「せみ」を奪い合う。

【場所】飛鳥神社【MAP】P18C4

開催日 8月14日

勇魚祭

●いさなさい

太地浦で行われていた「網掛け突き取り捕鯨法」を全長約9mの鯨模型と勢子舟で再現。

【場所】太地漁港【MAP】P18C4

開催日 10月体育の日の三連休

飛鳥神社例大祭

●あすかじんじやれいたいさい

若者衆がお神酒を入れた大樽・小樽のみこしを担いで町内を練り歩き、大漁を感謝し、豊漁を祈る。

【場所】太地町内【MAP】P18C4



5 太地くじら浜公園(→P12)に立つ羽指(はざし=古式捕鯨で鯨に鉾を打ち込んだ人)の像

6 古式捕鯨の様子を伝える「熊野太地浦捕鯨図」(太地町立くじらの博物館蔵)。作品名は「太地」だが、実際は古座の鯨方を描いたものという

7 輪になって踊る「殿中踊」は鯨を取り巻く様子を表している

8 11月の「太地浦くじら祭」で披露される

9 今に受け継がれる伝統行事には子どもたちも参加する

10 的をめがけて弓を放つ神事。行事後は参詣者が的の端を持ち帰る

鯨がもたらした繁栄

捕鯨にはさまざまな役割があり、高台から鯨を見張る者、鯨を運ぶ者、用具を管理・修繕する者など多岐にわたる。解体・加工は「鯨始末係」が担い、肉の大半は塩漬にして出荷。骨や皮から鯨油をとり、ヒゲや筋は道具の材料にするなど、巨体をありがたく受け取り、余すところなく活用した。

鯨は「二頭で七郷が潤う」といわれるほど莫大な富をもたらした。年間で95頭が捕れた天和元年(1681年)には、6000両を超す利益が得られたという。

直接的に捕鯨を行う者の背後には、船大工や鍛冶屋、鯨販売を司る人々もおり、捕鯨は地域全体を潤した。

規模こそ違うものの、太地では現在も捕鯨が行われている。また各地に捕鯨の歴史と文化を伝える有形・無形の文化財が残されており、ストーリーをたどることができる。

鯨を見張った山見台跡、狼煙場など、どの史跡からは、勇壮な古式捕鯨が偲ばれる。鯨の供養碑は、人々が鯨をいかに大切に、感謝していたかわかる。

人と鯨の結びつきの深さをより感じさせるのは、鯨にまつわる祭りや伝統芸能だ。豪華に飾り立てた御舟の渡御、鯨を捕る様子を勇壮に再現する鯨踊など、この地にはさまざまな行事が受け継がれている。新宮市や太地町では、多くの小学生が郷土学習の環として鯨踊を習っている。

熊野灘沿岸の人々にとって、鯨は今も身近で特別な存在。400年の歴史をもつ捕鯨文化はしっかりと根を張り、息づいている。

ンパワーが捕鯨の原動力だった。捕鯨が盛んになった理由として地理的条件も見逃せない。熊野灘沿岸は複雑なりアス式海岸が続き、背後には急峻な山々が迫る。つまり、鯨をいち早く発見できる高台や、鯨を引き揚げられる浜があることが要因の一つだった。

た。繁栄ぶりは遠く離れた大阪にも伝わり、井原西鶴は著書「日本永代蔵」に太地の栄華を記している。

受け継がれる捕鯨文化

規模こそ違うものの、太地では現在も捕鯨が行われている。また各地に捕鯨の歴史と文化を伝える有形・無形の文化財が残されており、ストーリーをたどることができる。

鯨を 見る・学ぶ・楽しむ！

日本遺産の舞台をたどるだけでなく、熊野では実際に鯨と出合うこともできる。鯨について学べる博物館では、ふれあい体験やショーも開催。熊野灘のクジラに出合えるホエールウォッチングは感動必至！



クジラやイルカとの
ふれあい体験もできる博物館

吹き抜けの天井から吊るされた模型は大迫力

太地町立 くじらの博物館

●たいじちょうつくじらのはくぶつかん

太地くじら浜公園にある、世界でも有数の鯨専門の博物館で、本館には鯨に関するさまざまな資料を展示。入江を利用した自然プールでは、クジラショーやふれあい体験を開催。

☎0735-59-2400 ④東牟婁郡太地町太地2934-2 ⑤JR太地駅から太地町営じゅんかんバスで約5分、くじら館下車すぐ ⑥8時30分~17時 ⑦無休 ⑧大人1300円、小・中学生700円 (2017年4月からは各1500円、800円) 【MAP】P18C4



古式捕鯨で鯨を追った勢子舟の部材。太地町文化財に指定されている

鯨を発見するのに使われた望遠鏡など古式捕鯨の道具も興味深い

●博物館本館

古式捕鯨時代から現代までの捕鯨にまつわる各種資料を展示。骨格標本をはじめ鯨の生態に関する資料も見られる。3階まで吹き抜けになったホール天井から吊るされた、実物大の約15mのセミクジラや古式捕鯨舟の模型は圧巻。



●ふれあい体験



カヤックアドベンチャー

カヤックに乗ってゴンドウクジラに大接近。まさに間近で観察でき、エサをあげることもできる。所要約10分。
⑧9時~15時30分 ⑨1000円

餌あげ体験

ふれあい桟橋からクジラやイルカにエサをあげて、大きな口の中を観察。手軽にふれあいたい人におすすめ。
⑧9時~15時30分 ⑨200円 (2017年4月からは300円)



ビーチでふれあい

トレーナーと一緒に浅い海の中へ。目の前のイルカに優しく触れて、大きさや動きを体感できる。所要約5分。
⑧9時~15時30分 ⑨1000円
※参加条件は身長120cm以上。





黒潮が流れる 熊野灘で超感動体験!



紺碧の海に乗り出せば
気分も爽快!(一吉丸)

船長さんの説明を聞
いて出航(南紀マリン
レジャーサービス)

海に潜るときに見られる「テールアップ」は迫力満点(南紀マリンレジャーサービス)

ホエール ウォッチング

黒潮が最も近く接岸する熊野灘ではホエールウォッチングを楽しめる。春から秋にかけて、大型のマッコウクジラやザトウクジラ、ゴンドウクジラなどが集まり、イルカやマンタなども見られる。遭遇できるかは天候と運次第だが、感動を求めてチャレンジ!



船のすぐ近くに寄ってくることも(南紀マリンレジャーサービス)

南紀マリンレジャーサービス

●なんきまりんれじゃーさーびす

ガイド歴20年以上のベテラン船長が案内。万一出合えなかったときは次回割引券の配布または、新鮮な魚をサービス。所要約4時間。

☎0735-54-0725 ④東牟婁郡那智勝浦町宇久井285-2 ⑤JR宇久井駅から徒歩約10分 ⑥3月下旬~9月下旬の7時に出航(土・日曜、祝日は6・12時に)※前日までに要予約。荒天時などは休航 ⑦大人(中学生以上)6500円、小学生5000円、幼児(3歳以上)2000円【MAP】P18B1

一吉丸 ●かずよしまる

紀伊大島(申本町)の須江港を出航し、潮岬~太地沖の熊野灘へ。クジラやイルカに交じって、シャチが見られることも。所要約3~4時間。

☎0735-65-0046、090-3033-8050 ④東牟婁郡申本町須江 ⑤JR申本駅から車で約20分 ⑥4月下旬~9月下旬の7時に(日曜、祝日は12時出航も相談可)※2日前までに要予約。荒天時などは休航 ⑦大人(中学生以上)6000円、子ども(4歳以上)4000円【MAP】P18B4

●海洋水族館 (マリナリュウム)

トンネル水槽には、世界の水族館でもここでしか出会えないというスジイルカや、マダライルカ、白いバンドウイルカが泳ぎ回る。

ショー後の「イルカにタッチ」(200円※2017年4月からは300円)



頭上をイルカが泳ぐ光景は幻想的



●イルカショー

かわいいイルカたちによる、スピーディーでダイナミックなショーは必見。ショーの後にはイルカと直接ふれあうこともできる。

⑧9時30分、11時15分、13時15分、15時15分
⑨無料(入館料は必要)

キュートなイルカたちが大活躍

●クジラショー

自然の入江を仕切ったクジラショーエリアで開催。体長5mほどのゴンドウクジラが迫力あるパフォーマンスを繰り広げる。約10分。

⑩10時15分、12時15分、14時15分、16時
⑪無料(入館料は必要)

豪快なジャンプも見られる





1泊2日コース

串本町〜太地町〜那智勝浦町〜新宮市

海の日本遺産と山の世界遺産をめぐる熊野満喫プラン

日本遺産 ジオパーク **九龍島**
●くろしま

ジオパーク **鯛島**
●たいじま

④東牟婁郡串本町西向
⑤JR古座駅から徒歩約10分の国道42号から見学
[MAP] P18B3

陽光きらめく
串本の海岸線をドライブ

ここからは、日本遺産「鯨とともに生きる」の舞台に加えて、その他の熊野のみどころを効率よく巡るモデルプランをご紹介します。まずは、世界遺産の熊野三山や熊野古道も訪ねる1泊2日のプランから。名湯に浸かり、名物を堪能し、熊野の魅力を味わい尽くそう。

1日目

和歌山県南部随一の景勝地と熊野水軍ゆかりの島

1日目は本州最南端の町・串本から、熊野灘に沿って北上。「鯨の町」として知られる太地を巡り、南紀勝浦温泉で宿泊する。

最初に訪ねる橋杭岩は、和歌山県を代表する景勝地。青い海に大小40余の岩柱が並び立ち、潮の満ち引きや太陽の位置によって、1日のうちでもさまざまな美しさを見せる。橋の杭のような姿は、波の浸食によって岩の硬い部分だけが残ったもの。国の名勝天然記念物であるとともに、南紀熊野ジオパークのジオサイトにも選定されている。

橋杭岩から国道42号を北東に進んで行くと、右手の熊野灘に九龍島・鯛島が見えてくる。古座川河口の沖、約1kmに浮かぶ無人島で、かつては熊野水軍の拠点だったと伝わっている。また、大きい方の九龍島は、熊野灘の捕鯨文化のひとつ「河内祭の御舟行事」(↓P5)に

ジオパーク **橋杭岩** ④東牟婁郡串本町くじの川
●はしくいいわ ⑤バス停橋杭岩からすぐ [MAP] P18A3



南紀熊野
ジオパーク

日本ジオパークのひとつ。ジオパークとは「大地の公園」を意味し、貴重な地形や地質などが残る地域を、日本ジオパーク委員会が認定する。和歌山県南部の9市町村(新宮市、白浜町・上富田町・すさみ町・那智勝浦町・太地町・古座川町・串本町、北山村)を範囲とする南紀熊野ジオパークでは、3つの異なる地質体が見られ、橋杭岩をはじめとする107カ所(2016年11月現在)がジオサイト(みどころ)に選定されている。

●1日目

- JR串本駅
- ↓ 車で約5分
- 橋杭岩
- ↓ 車で約5分
- 九龍島・鯛島
- ↓ 車で約30分
- いさなの宿 白鯨
- ↓ 車で約1分
- 太地町立くじらの博物館
- ↓ 車で約8分
- 燈明崎
- ↓ 車で約20分
- 南紀勝浦温泉 泊

●2日目

- 南紀勝浦温泉
- ↓ 車で約15分の大門坂駐車場に駐車し、大門坂入口まで徒歩で約3分
- 熊野古道 大門坂
- ↓ 徒歩で約30分
- 熊野那智大社
- ↓ 徒歩すぐ
- 那智山青岸渡寺
- ↓ 徒歩すぐ
- 魚霊供養碑
- ↓ 徒歩で約15分
- 那智の滝
- ↓ 那智の滝前バス停から熊野交通バスで約5分の大門坂駐車場前で下車、車で約15分
- まぐろ&バル Kinsei
- ↓ 車で約30分
- 熊野速玉大社
- ↓ 車で約7分
- 神倉神社
- ↓ 車で約5分
- JR新宮駅

宿泊は
南紀勝浦温泉へ→P16



巨大な洞窟内で温泉を楽しむホテル浦島の忘帰洞

復元された燈明台が立つ岬の先端から熊野灘を一望できる



日本遺産 ジョパーク
燈明崎 ●とうみょうざき
燈明台跡・山見台跡
古式捕鯨支度部屋跡・狼煙場跡
⑤東牟婁郡太地町太地
⑥バス停平見公園前から
徒歩約15分【MAP】P18C4



くじらの町・太地を
訪ねる



太地町立くじらの博物館

→P6



鯨の町のおみやげにぴったりのくじらの民芸品(民芸工房 抱壺庵→P18)

☺太地で鯨料理を食べるなら

いさなの宿 白鯨

●いさなのやど はくげい

太地湾に面した温泉宿。ランチ利用ができるレストランでは、太地ならではの鯨料理のメニューが充実。鯨スタミナ丼1200円から鯨フルコース5400円まで、予算に応じてさまざまに楽しめる。

☎0735-59-2323 ⑤東牟婁郡太地町太地2973-4 ⑥バス停白鯨前からすぐ ⑦11~14時(13時30分LO) ⑧無休【MAP】P18C4

竜田揚げ、刺身、ハリハリ鍋などを味わえる鯨御膳2300円



左が九龍島、右が鯛島。鯛島には目のような空洞も



巨岩・奇岩の列が約850mにもわたって海上に続いている

現在、燈明崎には昔の灯台である燈明台や山見番所が復元されており、燈明崎「燈明台跡」「山見台跡」、古式捕鯨「支度部屋跡」「狼煙場跡」が日本遺産の構成文化財となっている。絶景の岬で古式捕鯨を偲んだ後は、南紀勝浦温泉へ。名湯で1日の疲れを癒そう。

さらに、太地町立くじらの博物館(→P6)を見学し、古式捕鯨の指令所「山見台」であった燈明崎を目指す。熊野灘を一望できる断崖上のこの地で、昔の人は鯨を見張り、発見すると狼煙を上げるなどして、沖の船団に合図を送った。捕鯨の最重要施設であり、総指揮者は捕鯨に関わる一族のうち、最も権威のある家筋の者しか就けなかったという。

九龍島・鯛島を後に、太地町へ。古式捕鯨の発祥地とされ、現在も沿岸で小型鯨類の捕鯨が行われている町だ。町内には、熊野ひいては日本の食文化として受け継がれてきた鯨料理を出す店も多く、まずは「いさなの宿 白鯨」でランチとしよう。

古式捕鯨の史跡が残る
熊野灘一望の岬へ

も関係する聖地として崇められている。鯛島はその名の通り、鯛のような形が目を引く。

数多の巡礼者がこの道をたどった。世界的にも珍しい「信仰の道」の世界遺産



世界遺産 熊野那智大社

●くまのなちたいしゃ

☎0735-55-0321 ④東牟婁郡那智勝浦町那智山1
 ⑤バス停那智山から徒歩約10分 ⑥6時~16時30分
 ⑦境内自由 【MAP】P18A1

朱塗りの拝殿(写真中央)。写真右から枝を伸ばす大樟は、平重盛のお手植えと伝わる

世界遺産 ジョパーク

熊野古道 大門坂

●くまのこどう だいもんざか

④東牟婁郡那智勝浦町那智山
 ⑤バス停大門坂から入口まですぐ
 【MAP】P18A1



日本遺産 魚霊供養碑

●ぎょれいくようひ

④那智山青岸渡寺の境内
 【MAP】P18A1

鯨をはじめさまざまな魚に感謝し、供養するために漁業関係者らが建立した

古色を帯びた本堂。堂内の奥に本尊の如意輪観音が祀られている



世界遺産

那智山 青岸渡寺

●なちさんせいがんとし

☎0735-55-0001
 ④東牟婁郡那智勝浦町那智山8
 ⑤バス停那智山から徒歩約10分
 ⑥5~16時 ⑦境内自由
 【MAP】P18A1

石畳の古道を歩き、聖地・那智山へ

☎勝浦で生マグロを食べるなら

まぐろ&バル Kinsei

●まぐろ あんど ぼる きんせい

勝浦漁港の仲卸店が営む店で、鮮度抜群の生マグロをお得に堪能できる。名物の生マグロバカ盛り丼は、特製たれに浸けた生マグロをこれでもかと積み上げたメガ丼。マグロローस्ट980円も人気だ。

☎0735-29-7769 ④東牟婁郡那智勝浦町築地8-6-6 ⑤JR紀伊勝浦駅から徒歩約5分 ⑥11~14時、17~22時 ⑦水曜 【MAP】P18C3



生マグロバカ盛り丼1800円。生マグロ丼(並)は980円

2日目
 かつての熊野詣を追体験し、世界遺産の社寺を巡る
 2日目は、世界遺産に登録されている熊野信仰の聖地・熊野三山と熊野古道の旅を楽しもう。
 午前中は那智山へ。勝浦から車やバスで直行できるが、山麓の大門坂駐車場に車を止め、熊野古道の大門坂から歩いて巡るのがおすすめ。熊野古道は昔の人々が三山を巡礼するのにとつた道で、大門坂は当時の面影を美しく残しており、杉の巨木が林立する山中に苔むした石段が600mほど続いている。
 坂を登り詰め、さらに山口光峯堂(↓P18)などのみやげ店が並ぶ参道の石段を上ると、熊野那智大社に着く。すぐ隣には、那智山青岸渡寺。熊野三山のひとつとして、両者は一体的に発展してきたもので、どちらも世界遺産に登録されている。
 まず熊野那智大社にお参り。標高約400m、那智湾を望む清々しい境内に、壮麗な社殿が立ち並ぶ。6棟からなる本殿は国重要文化財。那智山青岸渡寺は、西国三十三所観音霊場の第一番札所として知られる。豪壮な本堂は、豊臣秀吉が再建したものと伝わり、こちらも国重要文化財。本堂に向かって左には、日本遺産の魚霊供養碑が立つ。
 続いて、急な石段を下って行けば、



熊野川河口の 世界遺産の町・新宮へ

世界遺産 熊野速玉大社

●くまのはやたまたいしゃ
☎0735-22-2533 ④新宮市新宮1

⑤JR新宮駅から徒歩約20分
⑥6~18時(季節により変動)

⑦境内自由

【MAP】P18B1

木々の緑と社殿の朱のコントラストが美しい、フォトジェニックな世界遺産

山麓から538段の急峻な石段を上ったところにあるゴトビキ岩



世界遺産 ジオパーク 神倉神社

●かみくらじんじや
☎0735-22-2533(熊野速玉大社)

④新宮市神倉1-13-8
⑤JR新宮駅から参道入口まで

徒歩約20分

⑦境内自由

【MAP】P18B1

町なかの名所・名物をたずねる

新宮は熊野速玉大社の門前町、新宮城の城下町として栄えてきた。市内には新宮城跡などの史跡が残り、徐福伝説を伝える徐福公園もある。徐福は約2200年前の中国の仙術者。不老不死の霊薬を探して熊野に渡来し、捕鯨の技術なども伝えたという。新宮は佐藤春夫や中上健次ら多数の文化人の故郷としても知られ、熊野速玉大社門前に佐藤春夫記念館が立つ。



極彩色の中国風楼門が立つ徐福公園

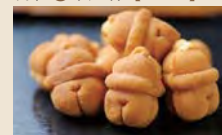
【MAP】P18C1

老舗の銘菓をおみやげに 香梅堂

●こうばいどう

明治元年(1868年)創業の和菓子店。看板商品の鈴焼1袋20個入り325円~は、ひと口サイズのかわいいカステラ菓子。和三盆糖の上品な甘さで世代を問わず人気を集める。

☎0735-22-3132 ④新宮市大橋通3-3-4 ⑤JR新宮駅から徒歩約10分
⑥8~21時(日曜は8時30分~17時30分) ⑦不定休 【MAP】P18C1



ふんわりとして口どけがいい鈴焼

サンマ寿司を食べるなら 徐福寿司 駅前店

●じよふくずし えきまえてん

熊野の郷土料理、サンマ寿司の名店。こちらでは、腹のうま味を損なわないよう手間のかかる背開きにこだわり、尾頭付きの「さんま姿寿司」として提供。ひと口食べるとユズ酢が爽やかに香る。

☎0735-23-1313 ④新宮市徐福2-1-9
⑤JR新宮駅からすぐ ⑥10~17時 ⑦木曜 【MAP】P18C1



さんま姿寿司650円。持ち帰りも可



世界遺産 ジオパーク 那智の滝

●なちのたき

☎0735-55-0321(熊野那智大社)

④東牟婁郡那智勝浦町那智山

⑤バス停那智の滝前から徒歩約3分

⑥境内自由(御滝拝所は7時~16時30分)

⑦御滝拝所舞台参入 大人300円、小・中学生200円

【MAP】P18A1

原生林に包まれた、高さ133mの大断崖を豪快に流れ落ちる

山上の巨岩は 神々が降臨した聖地

午後は新宮市へ向かい、熊野三山のひとつ熊野速玉大社を参拝する。境内には、緑の木々を背に鮮やかな朱塗りの社殿が立ち並んでいる。さらに大社の元宮である神倉神社へもお参りを。大社の南、神倉山中腹にある巨岩「ゴトビキ岩」をご神体とする古社だ。

熊野の神々ははじめこの岩に降臨し、景行天皇の時代に新しい宮(熊野速玉大社)を建て、神々をお迎えしたという。そのため、神倉神社を元宮、熊野速玉大社を新宮とよぶようになり、「新宮」は地名ともなった。

参拝後は、新宮の町なかを散策。あるいは、那智・新宮と並ぶ熊野三山のひとつ、熊野本宮大社(田辺市本宮町)へ足を延ばすのもいい。新宮から車で1時間ほどだ。

那智の滝が現れる。那智山の信仰は、この大滝を神と崇める自然崇拜に始まったといわれる。滝の前には熊野那智大社の別宮・飛瀧神社^{ひろう}があり、御滝拝所からは、飛沫がかかるほど間近で聖なる大滝を仰げる。

那智の滝前バス停から路線バス(便数が少ないので事前に時間確認を)で大門坂駐車場へ戻り、車で勝浦の「まぐろ&バルクインセイ」へ。昼食に生マグロ丼を味わおう。

1日コース 那智勝浦町く太地町

熊野灘の潮風を感じる町歩きプラン

生マグロの町勝浦では、魚市場で競りを見学し、ミニチュア鯨舟の絵付けを体験。鯨の町太地では、風情ある漁師町の町並みをたどり、古式捕鯨の史跡を訪ねる。潮風に吹かれて、のんびり歩こう。

くじら舟の郷土玩具の絵付けを体験

生マグロの町・勝浦から 遊覧船で太地へ



マグロがずらり。2階デッキからは申し込み不要で無料見学可

勝浦魚市場体験

●かつら
●おいちばたいけん

☎0735-52-0951(勝浦市場) ④東牟婁郡那智勝浦町築地7-8-2 ⑤JR紀伊勝浦駅から徒歩約5分 ⑥7時から約30分間、前日17時までに宿泊先のフロントに要予約(宿泊しない場合は勝浦市場へ問合せを) ⑦土曜、祝日の前日、水揚げのない日、ほか月2回不定休 ⑧中学生以上1000円、小学生以下500円【MAP】P18C3

日曜は朝市も開催

毎週日曜の8~11時には、魚市場の横の「勝浦漁港にぎわい広場」で朝市を開催。マグロなどの海の幸が販売され、マグロ丼やカマ焼きなどを味わえる屋台も出店。雨天決行。

☎0735-52-2131(那智勝浦町観光産業課)



熊野古式くじら舟
1296円。絵付け
体験は1200円。

小倉家

●おぐらや
☎0735-52-0650 ④東牟婁郡那智勝浦町築地4-2-4 ⑤JR紀伊勝浦駅からすぐ ⑥7時30分~18時30分 ⑦不定休【MAP】P18C3

紀の松島めぐり

●きのまつしまめぐり

☎0735-52-8188 ④東牟婁郡那智勝浦町勝浦 ⑤勝浦観光棧橋へはJR紀伊勝浦駅から徒歩約8分 ⑥勝浦観光棧橋発8時30分~15時30分(変更の場合あり) ⑦無休(荒天時などは休航) ⑧Aコース中学生以上1650円、4歳以上830円(太地で下船する場合は、同じく1250円、630円)【MAP】P18C3

Aコースは所要55分(太地くじら浜公園までは40分)



ラクダ岩(写真手前)などの奇岩もある海を巡る

鯨のしっぽのモニュメントに迎えられる



太地くじら浜公園

●たいじくじらはまこうえん
④東牟婁郡太地町太地
⑤バス停くじら館からすぐ【MAP】P18C4

美味しいパンをくじら浜公園で

Boulangerie Le Bois

●ぶーらんじえりーーのぼわ

「花いろどりの宿 花遊」(→P17)直営のベーカリー。北海道産小麦「春よ恋」でつくる白パン「白雪姫」は、ふわふわでもちもち。季節のフレッシュフルーツのデニッシュやキッシュも人気。イートインもできる。

☎0735-59-3552 ④東牟婁郡太地町太地2906 ⑥7~16時 ⑦水曜 ⑧バス停くじら館からすぐ【MAP】P18C4



よつ葉バター使用のクロワッサン183円。白雪姫3個194円など

勝浦駅前のみやげ物店・小倉家では、郷土玩具「熊野古式くじら舟」に注目。江戸時代の捕鯨舟をかたどっており、鳳凰や菊などの模様が鮮やかな色彩で描かれている。店主がひとつずつ彩色しており、予約すれば絵付け体験もできる。

続いては、紀の松島めぐりを楽しみつつ太地へ向かう。紀の松島とは勝浦港周辺に点在する鶴島・兜島・ラクダ岩など大小の島々の総称で、遊覧船が勝浦観光棧橋から出航。基本的なAコースは、太地くじら浜公園に寄港するので、今回はそこで下船。一帯にはくじらの博物館(→P6)

●コースチャート

- 勝浦魚市場体験
↓ 徒歩で約5分
- 小倉家
乗船場の勝浦観光棧橋へ
徒歩で約7分
- 紀の松島めぐり
↓ 遊覧船で約40分
- 太地くじら浜公園
↓ 徒歩すぐ
- 🕒 Boulangerie Le Bois
徒歩で約25分。またはバス停くじら館
から太地町営じゅんかんバス約3分、
漁協前下車すぐ
- 鯨骨鳥居
↓ 徒歩で約5分
- 和田頼元墓(順心寺)
↓ 徒歩で約5分
- 🕒 亀八屋
↓ 徒歩で約5分
- 岩門
バス停石門から太地町営じゅんかん
バスで約10分
- JR太地駅

ここも歩きたい!
燈明崎から梶取崎へ

古式捕鯨の山見台であった燈明崎(→P9)から梶取崎までは約1.6kmの遊歩道。高台を通る道沿いにクジラやイルカの解説板があり、随所で熊野灘を望む。梶取崎も山見台だったところで、芝生が広がる園地には鯨の形をした供養碑もある。



遊歩道の途中には休憩所も整備されている



熊野灘に突き出した梶取崎には灯台が立つ



- 1 レトロな建物は国の登録有形文化財
- 2 熊野灘の潮風が心地よい
- 3 ペンキ塗りの民家が連なる町を散策

捕鯨文化が息づく
漁師町を散策

お墓は和歌山県の史跡に指定

鯨骨鳥居

●くじらぼねとい
🕒 東牟婁郡太地町太地 🕒 バス停漁協前からすぐ
【MAP】P18C4



『日本永代蔵』に登場する話に発想を得て、1985年に建てられた(1996年に再建)



日本遺産 和田頼元墓

●わだよりもとのほか
🕒 東牟婁郡太地町太地 🕒 バス停漁協前から徒歩約5分
【MAP】P18C4



バス停にも鯨が描かれている

🕒 名物「てつめん餅」をおやつ・おみやげに
亀八屋 ●かめはちや

江戸時代末期、熊野詣の京都の僧に製法を伝授されたと伝わる「てつめん餅」を今も手作り。軟らかい米粉の皮の中には、甘さあつさりの自家製あんがたっぷり。早ければ午前中に売り切れるのでお早めに。
☎0735-59-2258 🕒 東牟婁郡太地町太地3383 🕒 バス停漁協前から徒歩3分 🕒 8時~売切れ次第 🕒 金曜 【MAP】P18C4



白とヨモギの2種あり、各1個110円



日本遺産 ジオパーク

岩門

●せきもん
🕒 東牟婁郡太地町太地 🕒 バス停石門からすぐ
【MAP】P18C4

紀州藩が編纂した『紀伊続風土記』にも記載

レトロかわいい
ペンキ塗りの民家の町並み

公園から南へ歩くと、太地漁港に至る。このあたりが町の中心。漁協向かいには漁の神を祀る恵比須神社があり、鯨骨で造った鳥居が立つ。周辺には、住宅が密集した漁師町特有の町並みが残る。ほかと違うのは、格子を付けた日本家屋であつても、淡い色のペンキで塗った建物が多いこと。かつて太地は北米移民や捕鯨船の乗員を多数輩出。そうした人々がペンキ塗りの文化を海外から持ち帰ったともいわれる。

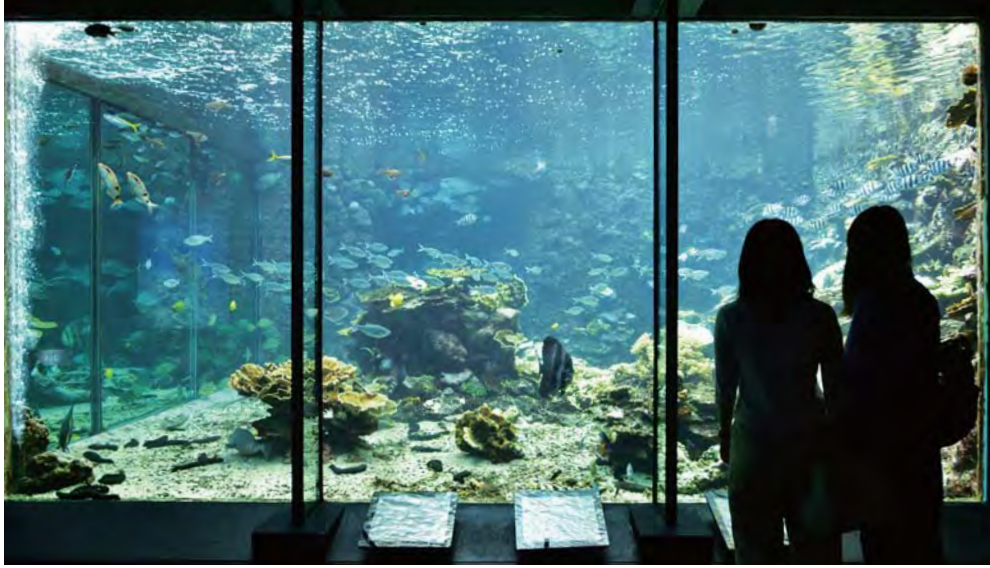
順心寺には捕鯨の祖とされる和田頼元墓がある。和田家はこの地の名族で、忠兵衛頼元が慶長11年(1606年)、銚で鯨を捕る組織的な捕鯨を始めたという。洞穴の岩門は昔から「和田の岩門」などと呼ばれ、内側に和田家の広大な屋敷があつたと伝わっている。

余裕があれば、燈明崎〜梶取崎へ足を延ばすのもいい。岩門・梶取崎のどちらからでも、帰路は町営バスでJR太地駅へ。バスの便数は少ないので、事前に時間を確認しておこう。



1日コース 串本町

本州最南端で 絶景ドライブプラン



串本海中公園 ●くしもとかいちゅうこうえん

☎0735-62-1122 ⑤東牟婁郡串本町有田1157
 ④JR串本駅から無料送迎バスで約12分 ⑨9時~16時30分(チケット販売は16時終了) ⑩無休(観光船は荒天時休航) ⑪水族館・展望塔・乗船セット券は大人2600円、小・中学生1400円(施設別のチケットあり) 【MAP】P18A4



海中展望塔と海中観光船から海中観察を楽しめる

水族館の「串本の海大水槽」。串本の海中景観がそのまま再現されている

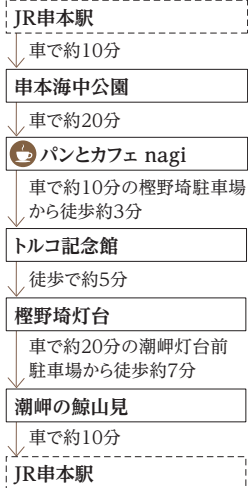
トルコ記念館

●とるこきねんかん
 ☎0735-65-0628 ⑤東牟婁郡那串本町檜野1025-26 ④バス停檜野灯台口から徒歩約3分 ⑨9~17時 ⑩無休 ⑪大人500円、小・中・高校生250円 【MAP】P18B4



乗員の遺品などを展示。事故では580余名が犠牲となり、島民は生存者救出に尽力した

●コースチャート



日本最古の洋式石造灯台。建物外側の通路から熊野灘を見渡せる



ジオパーク 檜野埼灯台

●かしのざきとうだい
 ⑤東牟婁郡串本町檜野
 ④バス停檜野灯台口から徒歩約8分
 ⑩見学自由 【MAP】P18B4

日本遺産 潮岬の鯨山見

●しおのみさきのくじらやまみ
 ⑤東牟婁郡串本町潮岬 ④バス停潮岬灯台前から徒歩約7分 【MAP】P18A4

古座浦(串本町古座)を本拠とした古座鯨方が鯨を見張っていた



☕素敵なパンカフェでひとやすみ パンとカフェ nagi

●ばんとかふえなぎ
 国産小麦や自家製発酵種で丁寧につくられるパンを求め、遠方からもファンが訪れる。本格ハード系から菓子パン、地元の野菜や果物を使ったものなど幅広くあり、ピザも評判。カフェのドリンクも充実。
 ☎0735-65-0065 ⑤東牟婁郡串本町大島1158 ④JR串本駅から車で約10分 ⑨9~18時(カフェは10~17時LO) ⑩月・火曜(祝日の場合は営業) 【MAP】P18A4



野菜がのった窯焼きフォカッチャ324円など。ドリンクはジンジャーベリエ496円

美しいサンゴの海を体感し、紀伊大島や潮岬を巡る

串本は本州最南端の町。黒潮が沖を流れる海も温かく、串本海中公園の海域には世界最北限のテールサンゴ群落が広がり、熱帯魚が泳ぐ。半潜水型の海中観光船や海中展望塔から観察できるほか、水族館でも串本の海の生き物を見ることが出来る。

美しい海をのぞいた後は、くしもと大橋を渡って紀伊大島へ。途中、パンカフェの「nagi」で休憩し、島の東端・檜野埼にあるトルコ記念館を見学しよう。明治時代、檜野埼灯台下の岩礁で起こったトルコ国軍艦の遭難事故と、それがもとで深められてきたトルコ国と串本町および日本の友好の歴史を紹介している。

さらに檜野埼灯台も訪ねたら、道を引き返し、潮岬を目指す。串本の町の南、太平洋に突き出た、まさに本州最南端の地。白亜の潮岬灯台が立ち、そのすぐ先の潮御崎神社の入口左手の小道を進むと日本遺産の「潮岬の鯨山見」に出る。かつて鯨を見張った場所だけに、眺めは絶景。水平線を見渡せ、気象条件に恵まれれば、四国が見えることもあるという。

最後は串本駅へ。駅前の「菓子潮ざき」(↓P18)でおみやげを買いたい。

1日コース 新宮市

日本遺産・世界遺産&ジオパーク ウォークプラン



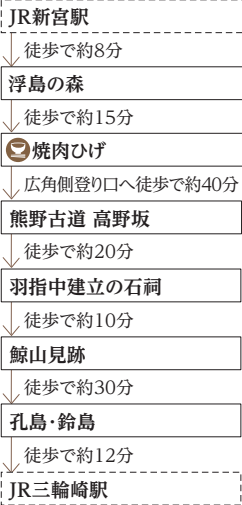
ジオパーク 孔島・鈴島
●くしま・すずしま
⑤新宮市三輪崎 ⑥JR三輪崎駅
から徒歩約12分【MAP】P18C2

足湯でゆったり
三輪崎漁港の一角には天然温泉の足湯が設けられており、ウォーキングの最後の足休めにぴったり。無料、10~16時、悪天候時などを除き無休。



孔島神社がある孔島。国際的に希少な鳥の繁殖地ともなっている
鈴島では大自然の営みに驚かされる

●コースチャート



枯れた植物が堆積して筏状になり、世にも不思議な「島」ができたという



ジオパーク 浮島の森
●うきしまのもり
☎0735-21-0474 ⑤新宮市浮島3-38 ⑥JR新宮駅から徒歩約8分
⑨9~17時(12~2月は~16時)
⑩無休 ⑪大人100円、子ども(6~11歳)50円【MAP】P18C1

世界遺産 ジオパーク 熊野古道 高野坂
●くまのこどうこうやざか
⑤新宮市三輪崎 ⑥広角側登り口はJR新宮駅から車で約15分。三輪崎側登り口はJR三輪崎駅から徒歩約7分
【MAP】P18C2



高野坂から見た王子ヶ浜。高野坂の標高差は約50m。ウォーキング初心者でも無理なく歩ける

日本遺産 羽指中建立の石祠
●はざしちゆうこんりゆうのせきし
⑤新宮市三輪崎 ⑥JR三輪崎駅から徒歩約17分【MAP】P18C2



金光稲荷神社の一角に立つ。三輪崎の鯨方の羽指(鯨に銚を打ち込む人)が建立したのと思われる

日本遺産 鯨山見跡
●くじらやまみあと
⑤新宮市三輪崎 ⑥JR三輪崎駅から徒歩約20分【MAP】P18C2



三輪崎の鯨方が鯨を見張った場所。高野坂を少し外れた枝道の先にある

熊野牛を食べるなら

焼肉ひげ ●やきにくひげ

県特産の黒毛和牛「熊野牛」の焼肉店。熊野牛は脂がしつこくなく、それでいて甘みはあって、肉本来の旨さを楽しめる。一頭買いするこの店は値段もリーズナブルで、新鮮さゆえにホルモンも美味。



☎0735-21-3488 ⑤新宮市神倉4-3-19
⑥JR新宮駅から徒歩約15分 ⑨11時30分~14時、17~22時 ⑩火曜(祝日の場合は営業) 【MAP】P18C1

屋の熊野牛スペシャル定食1500円。肉は秘伝のたれとの相性も抜群

海の見える熊野古道を歩き、捕鯨の歴史を宿す三輪崎へ

新宮の歴史と自然を訪ねてウォーキング。最初に向かう浮島の森は、約50000㎡の森全体が、実は沼地に浮かんでいるという不思議スポット。寒暖両性の貴重な植物群落は国天然記念物に指定されている。続いては、「焼肉ひげ」で熊野牛の昼食を。近くには「maffably」(↓P18)もあるので覚えておきたい。

午後は、世界遺産の熊野古道高野坂を越え、かつての捕鯨拠点のひとつ三輪崎を目指す。なお「焼肉ひげ」から高野坂登り口(広角側)へのルートは少しわかりにくいので、タクシーを利用してほしい。

高野坂を登る前に、王子ヶ浜を散策するのもおすすめ。登り口から、並行する紀勢本線のガードを潜れば、浜に出られる※。高野坂を少し登ったところにも王子ヶ浜のビューポイントがあり、さらに進むと、日本遺産の「羽指中建立の石祠」「鯨山見跡」がある。

坂を下り、海沿いに進んで三輪崎漁港へ。漁港の前には孔島・鈴島があり、どちらも堤防依いに歩いて行ける。島には夏に白い花を咲かせるハマユウなど暖地性海岸植物が生い茂り、鈴島は大自然が造り上げた複雑な地形も見ものだ。

熊野のおすすすめ宿

みどころいっぱい熊野観光の拠点にしたい宿泊施設をご紹介します。
自分好みの宿を見つけて、熊野の旅をゆつたり楽しもう。



奥行50mという巨大な自然洞窟内で温泉を楽しめる忘帰洞

南紀勝浦温泉

●なんきかつうらおんせん

和歌山県を代表する名湯。
勝浦港の周辺にさまざまな宿泊施設がある。
絶景露天風呂が自慢の宿も多く、
日帰り入浴できる場所も多い。



ホテルなぎさや

●ほてるなぎさや

勝浦の町から少し離れた、入江の奥の静かな場所に立つ。露天風呂「汐見の湯」、ミニ水族館がある大浴場ともに、敷地内から湧き出る源泉をぜいたくにつけ流し。アルカリ性の湯は肌になめらかで、美肌効果も期待できるという。

☎0735-52-0015 ⑤東牟婁郡那智勝浦町湯川955-1 ⑥JR紀伊勝浦駅から送迎バスで約5分 ⑦1泊2食付1万3110円～【MAP】P18C3

立ち寄り入浴

⑧17～21時 ⑨不定休
⑩大人1080円、小人540円

プライベートビーチさながらの海の景色を独占できる汐見の湯



美しい海と豊かな緑に囲まれた一軒宿



客室からも穏やかな入江を眺められる



ホテル中の島

●ほてるなかのしま

勝浦湾に浮かぶ小島にあり、勝浦観光棧橋から専用船で向かう。湯量豊富な6本の源泉を保有し、波打ち際の「紀州潮聞之湯」をはじめとする館内の露天風呂は、すべて源泉かけ流し。マグロなど海の幸たっぷりの料理も自慢。

☎0735-52-1111 ⑤東牟婁郡那智勝浦町勝浦1179-9 ⑥JR紀伊勝浦駅から徒歩約8分、勝浦観光棧橋から送迎船で約3分 ⑦1泊2食付1万1180円～【MAP】P18C3

立ち寄り入浴

⑧14～20時 ⑨無休
⑩大人1000円、小学生500円

波の音も心地よく聞こえる絶景露天風呂「紀州潮聞之湯」



緑豊かな小島に4棟の宿泊棟が立ち並んでいる



ワンランク上の「潮聞亭」の客室

申本

申本ロイヤルホテル

●くしもとろいやるほてる

高台に立つ大型リゾートホテル。36㎡の洋室、10畳の和室などがあり、日本料理やフレンチレストランなど館内の飲食施設も充実。露天温泉岩風呂からは橋杭岩や熊野灘を一望できる。

☎0735-62-7771 ⑤東牟婁郡申本町サンゴ台1184-10 ⑥JR申本駅から車で約3分(送迎バスあり) ⑦1泊2食付1万7430円~ [MAP] P18A3



開放感たっぷりの露天温泉
岩風呂からは朝日も望める



ゆったりくつろげる
広い洋室

太地

花いろどりの宿 花游

●はないろどりのやどかゆう

太地くじら浜公園にある温泉宿。趣向を凝らした特別フロア「花游亭」をはじめさまざまなタイプの客室があり、全室オーシャンビュー。広い庭園には四季の花が咲き乱れる。

☎0735-59-3060 ⑤東牟婁郡太地町太地2906 ⑥JR太地駅から太地町営じゆんかんバスで約5分、くじら館下車すぐ ⑦1泊2食付1万6200円~ [MAP] P18C4



潮風が心地よい天然温泉の
露天岩風呂



上質な時間を過ごせる
数奇屋風造りの花游亭

新宮

ホテルニューパレス

●ほてるにゅーぱれす

新宮市内最大級のホテル。客室タイプはシングル、シングルツイン、和室など多彩。館内には旅の疲れをゆったり癒せる大浴場や、和ダイニングもある。朝食は軽食バイキング。

☎0735-28-1500 ⑤新宮市新宮7683-18 ⑥JR新宮駅から徒歩約8分 ⑦シングル1泊素泊まり5500円~ [MAP] P18C1



大浴場があるのも
うれしい



機能的で落ち着ける客室。
全室にwifiを完備する

その他の宿泊施設については下記までお問合せください。

- 新宮市観光協会
☎0735-22-2840 <http://www.shinguu.jp/>
- 南紀勝浦温泉旅館組合
☎0735-52-0048 <http://katsuuraonsen.jp/>
- 那智勝浦町民宿組合
☎0735-52-2318
- 那智勝浦町観光協会
☎0735-52-5311 <http://www.nachikan.jp/>
- 太地町産業建設課
☎0735-59-2335 <http://www.town.taiji.wakayama.jp/>
- 申本町観光協会
☎0735-62-3171 <http://www.kankou-kushimoto.jp/>

ホテル浦島

●ほてるうらしま

勝浦湾と熊野灘を隔てる半島全体を敷地とする巨大温泉リゾート。地下道などで結ばれた4館が海辺や山上に立ち※、客室総数は731室。浴場は、熊野灘に面した大洞窟温泉「忘帰洞」をはじめ5カ所もあり、館内で湯巡りが楽しめる。※山上館は休館中(2017年4月再開予定)

☎0735-52-1011 ⑤東牟婁郡那智勝浦町勝浦1165-2 ⑥JR紀伊勝浦駅から徒歩約8分、勝浦観光棧橋から専用船で約3分 ⑦1泊2食付1万3110円~ [MAP] P18C3

立ち寄り入浴

⑧9~19時(入館は~18時) ⑨不定休
⑩大人1000円、小人500円



勝浦湾に面する本館和室。このほか
さまざまなタイプの部屋がある



勝浦観光棧橋から亀
などの形をした専用送
迎船で行き来する

和の趣とリゾート感覚が調和した露天風呂付き客室



陽いずる紅の宿 勝浦観光ホテル

●ひいずるくれないのやどかつうらんこうほてる

勝浦の町を見下ろす高台に立つ。最上階の展望風呂から那智湾が望め、晴れた早朝には日の出も眺められる。夕食はマグロや熊野牛などが味わえ、毎夜屋上で行われるマグロのかぶと焼きも名物(参加無料。悪天候、仕入れ状況により、中止の場合あり)。
☎0735-52-0750 ⑤東牟婁郡那智勝浦町天満1530 ⑥JR紀伊勝浦駅から徒歩約8分 ⑦1泊2食付1万2960円~ [MAP] P18B2

立ち寄り入浴

⑧15~21時 ⑨不定休
⑩大人1000円、小人500円



落ち着ける個室の
食事処もある

お湯に浸かりながら幻想的な
朝日を望める展望露天風呂

日本遺産「鯨とともに生きる」 関連地域MAP



熊野の名物をおみやげに

おみやげにしたい熊野の名物・特産品をチェック。旅の思い出とともに持ち帰りを。

申本町 菓子 潮ざき

厳選素材で店主が丹念に手作りする菓子は、地元でも観光客にも人気。代表菓菓の立岩巻は、ふっくら焼き上げた生地と、口どけよく上品な甘さの餡がベストマッチ!

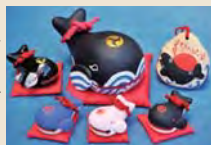
☎0735-62-5288 ④東牟婁郡申本町申本40-35 ⑤JR申本駅からすぐ ⑥8~18時(日曜は~17時)
⑦火曜 [MAP]P18A4
橋杭岩をイメージした立岩巻 1個129円



太地町 民芸工房 抱壺庵

鯨モチーフの民芸陶器を手作り。吉祥鯨土鈴1944円、お香入れの「くじらのおなら」などユニークでかわいいものばかり。予約をすれば給付け体験1000円~もできる。

☎0735-59-2879 ④東牟婁郡太地町太地2173-1 ⑤バス停西平見からすぐ ⑥9~17時 ⑦不定休 [MAP]P18C4
ピンクや青などがある手前の鯨土鈴756円



那智勝浦町 山口光峯堂

熊野特産の那智黒石でつくる硯の専門店。ひとときわ光沢を放つ「曼荼羅の径」は、那智黒石のなかでも希少な玉石を手彫りしたもので、驚くほど滑らかに墨をすれる。

☎0735-55-0020 ④東牟婁郡那智勝浦町那智山167-2 ⑤バス停那智山から徒歩約5分 ⑥8~17時 ⑦不定休 [MAP]P18A1
県伝統工芸品の「曼荼羅の径」 1万2960円~



新宮市 maffably

熊野の木から抽出したオリジナルのアロマオイルなどを販売。なかでも人気の「熊野の香り」は4種あり、代表的な熊野杉「芝原」は柑橘系の爽やかな香り。

☎0735-22-0662 ④新宮市緑ヶ丘3-1-29 ⑤JR新宮駅から徒歩約15分 ⑥10~19時 ⑦火曜 [MAP]P18C1
木箱入りの「熊野の香り」 2600円~



※本誌掲載のデータは2016年11月末日現在のものです。 ※料金は、原則として取材時点で確認した消費税込みの料金です。 ※交通表記における所要時間はあくまで目安です。 ※本誌に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用しています。(承認番号 平28情使、第647号)

和歌山アクセスガイド

～新宮・那智勝浦・太地・串本エリア～

自動車道は、西側はすさみ南ICまで、東側は熊野大泊ICまで(一部一般道経由)、それぞれ開通し、アクセスが便利になった。鉄道利用の場合は、新宮・紀伊勝浦・太地・古座・串本で下車。いずれもJR特急の停車駅となっている。



東京・名古屋方面から

- 車
 - 名古屋西IC
 - 東名阪道・伊勢道・紀勢道・国道42号・熊野尾鷲道路 約180km
 - 熊野大泊IC
 - 国道42号 約25km
 - 新宮市街
 - 国道42号 約6km
 - 新宮南IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km

- 那智勝浦IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km
- 市屋出口
 - 国道42号などで約4km
- 太地市街
 - 国道42号 約22km
- 串本市街
 - 国道42号 約25km

- 鉄道
 - 名古屋駅
 - JR関西本線・紀勢本線 特急 約3時間40分
 - 新宮駅
 - JR紀勢本線 特急 約20分
 - 紀伊勝浦駅
 - JR紀勢本線 約7分
 - 太地駅
 - JR紀勢本線 約20分
 - 古座駅
 - JR紀勢本線 約10分
 - 串本駅

大阪方面から

- 鉄道
 - 新大阪駅
 - JR阪和線・紀勢本線 特急 約2時間30分
 - 白浜駅
 - JR紀勢本線 特急 約55分
 - 串本駅
 - JR紀勢本線 約10分
 - 古座駅
 - JR紀勢本線 約20分
 - 太地駅
 - JR紀勢本線 約7分
 - 紀伊勝浦駅
 - JR紀勢本線 特急 約20分
 - 新宮駅

- 車
 - 吹田IC
 - 近畿道 約28km
 - 松原JCT
 - 阪和道・湯浅御坊道・阪和道 約143km
 - 南紀白浜IC
 - 紀勢道 約25km
 - すさみ南IC
 - 国道42号 約25km
 - 串本市街
 - 国道42号 約22km
 - 市屋入口
 - 国道42号 約25km
 - 太地市街
 - 国道42号 約25km

- 那智勝浦IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km
- 新宮南IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km

- 那智勝浦IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km
- 新宮南IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km

- 那智勝浦IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km
- 新宮南IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km

- 那智勝浦IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km
- 新宮南IC
 - 那智勝浦新宮道 約8km

主要エリアのバス路線 ●新宮・那智勝浦・太地・串本の主なバス路線

運行ルート	運行会社	起点・終点の料金	起点・終点の所要時間	便数
新宮駅～那智駅前～紀伊勝浦駅	熊野交通	620円	約47分	1時間1～3便
紀伊勝浦駅～那智駅～大門坂駐車場前～那智の滝前～那智山	熊野交通	620円	約25分	1日15便
新宮駅～志古	熊野交通	1080円	約38分	1日9便
新宮駅～志古～川湯温泉～湯の峰温泉～本宮大社前	熊野交通	1540円	約1時間19分	1日9便 ※①
串本駅～潮岬灯台前～潮岬観光タワー	串本町コミュニティバス	200円	約17分	1日11便
串本駅～くしもと大橋～金山登山口～大島港～檉野～檉野灯台口	串本町コミュニティバス	200円	約44分	1日5便
串本駅～海中公園センター	串本町コミュニティバス	200円	約13分	1日5便
太地駅～くじら館	太地町営じゅんかんバス(1-3-4-5-8-DE-F系統)	100円	約5分	1日11便
紀伊田辺駅～湯峰温泉～渡瀬温泉～川湯温泉～本宮大社前(～発心門王子)	龍神バス	2060円(2290円)	約2時間20分	1日5便
白浜空港～白浜バスセンター～紀伊田辺駅前～本宮大社前～志古～新宮駅	明光バス(快速熊野古道号)	3400円	約3時間15分	1日1便

※①…内4便は川湯温泉・湯の峰温泉通過。ほかに奈良交通・明光バス運行の路線もあり

空路 ●羽田空港 ↔ 南紀白浜空港

便名	羽田	南紀白浜	便名	南紀白浜	羽田
JAL213	7時25分	→	JAL212	9時25分	→
JAL215	10時25分	→	JAL214	12時10分	→
JAL219	16時25分	→	JAL218	18時35分	→

※2017年2月28日まで。以降は要問合せ

- 龍神バス ☎0739-22-2100
- 明光バス ☎0739-42-3378
- 熊野交通 ☎0735-22-5101
- 奈良交通 ☎0742-20-3100
- 太地町営じゅんかんバス ☎0735-59-2335
- 串本町コミュニティバス ☎0735-62-0556



座頭鯨網掛止圖


燈明崎

煙ヲ揚ケ沖之船ヲ呼
東西南北煙之相圖
常ニ平地ニ自由スルカ
如シ



和中金卯辰
明光山彦房
蒼卷國
和山人撰寫

◎発行／熊野灘捕鯨文化継承協議会(和歌山県観光振興課内)
問合せ：☎073-441-2777


文化庁 日本遺産魅力発信推進事業

